

第9期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

部 会 名	障害者支援施設検討部会
開 催 日 時	令和6年11月14日 ・ 18:00 ～ 19:15
記録担当委員	田形 大輔
<p>【協議概要】</p> <p>○ 近隣他市 障害者支援施設の機能や規模について（部会資料1参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部会資料1はとても参考になり目安となった。 ・ 入所施設の機能例として児童ショートステイの併設は？ <ul style="list-style-type: none"> → 短期入所の機能を持たせ、そこで対応できるのではないか。 → 実際は難しいとの意見もある為、検討。（例 国立市滝野川学園） ・ 東村山の施設を例に、視力障害者施設に他種別の利用ケースもみられた。実際の利用者や職員の意見を参考にしてみても。 ・ 児童ショートについて、小児の部会でも18歳以降の行き先がとても不安であると意見されている。 ・ 施設入所に対し需要の多い年齢層を調査する事が必須であるのでは？ ・ やはり入所施設があることで子育て世代にもメリットが多い ・ 入所施設の機能として通所事業所の併設は行わず、通所先は地域で補うことが望ましいのでは？ <ul style="list-style-type: none"> → イメージでは入所施設内に通所事業所があることを想定していた。 → そのような機能の施設もあるが、経験上の意見としてとても閉鎖的になってしまう。地域移行の観点から利用者の意思や希望に対応できることも必要では？また、例えば入所施設の方針により(終末期)まで利用していただくといった場合、全体的に施設利用者の高齢化が進んだ場合、通所の利用は減少してくると予想される。今後、施設の視察や運営・現場の聞き取りを進め、検討が必須。 ・ 入所施設には様々なケースがあると思うが、現状重度の方はGHの利用が難しく入所を希望している。 <ul style="list-style-type: none"> → 施設設立時は立地に伴い、近隣住民とのやり取りは必ずある為、住民の理解得る説明会は必須であると考えている。 <p>○ 障害者支援施設設置に係るアンケート（案）について（部会資料2参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートにより対象者数を把握したうえで、施設の規模を考えては？ <ul style="list-style-type: none"> → 施設の規模や場所に関しては地籍調査を行い、居住専用地域の兼ね合いもあるため建物が歪な構造になる場合も考えられる。 ・ 障がい当事者・事業所向けアンケートの内容について、ヒントになりうる情報は提供してほしい。 <p>○ 障害者支援施設の視察について（部会資料3参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小平福祉園の視察を予定 <ul style="list-style-type: none"> → 小金井市が想定している施設の定員や規模が合致していたため。 ・ 視察日候補 令和7年1月14日、15日、17日の午前または午後で調整。 ・ 市による送迎等を行わないため、公共交通機関の利用を。 <p>【次回の開催日程】</p> <p>令和7年1月23日(木)18:00 西庁舎・第5会議室</p>	